

## 論文目録

I. 氏 名 連 合 太 朗

II. 学 位 論 文 題 目

○○○○○○○○○・・・

III. 研 究 業 績

業績の記載は、各項目について年月が新しいものから順に記載する。

1. 学 術 論 文

学位論文は記載しない。

採択されたことが証明できる書類の写しを添付

1) ○○○○の研究

連合太郎

○○○教育研究 第20巻 第3号 pp. 40~49.

○○○出版

(印刷中)

本人を含めて3名以内の場合は、全員の氏名を列記することとし、4名以上の場合、「他計○名」とし、何番目に当たるかを記載する。(50音順・年齢順の場合、その旨を記載)

2) ○○○○文学の研究

小金井花子 他計○○名、うち○番目 (名前の記載は年齢順)

○○○○大学紀要 第20巻 第2号 pp. 173~196.

2009年10月

○○大学

3) 説明的文章の読解における作業記憶容量の影響

連合太郎・稲毛弥生・常盤みはる

○○○心理学研究 第45巻 第3号 pp. 1~15.

(R) 2008年9月

日本○○心理学会

4) ○○○○の研究(1)~(3)

常盤みはる・連合太郎

○○教育 第○巻第○号

pp. 25~38

3月

同 上 第○巻第○号

pp. 46~62

6月

同 上 第○巻第○号

pp. 7~25

9月 2007年

○○○書店

5) Effects of working memory when listening to expository text in children.

Koganei, H., and Rengou, T.

Japanese Journal of Educational Psychology, 103, 4, 125-134. (R) 2007年1月

The Japanese Association of Educational Psychology,

## 2. 著書

### (1) 単著

- 1) ○○文学の研究  
○○出版社 全224頁 2003年4月

### (2) 共著・編著・分担執筆

- 1) ○○○の心理学的基礎 **共著の場合**  
稲毛弥生・連合太郎  
第2章 ○○○○○○ pp. 25~38  
第4章 ○○○○○○ pp. 46~62  
○○出版会 全180頁 2002年11月

- 2) ○○○の教育と実践 **編著の場合**  
小金井花子 他計6名, うち3番目 (名前の記載は章番号順)  
第4章 ○○○○○○ pp. 46~62  
○○出版会 全320頁 2001年9月

- 3) ○○○の変遷に関する研究 **分担執筆の場合**  
小金井花子 他計4名  
第5章 ○○○○○○ pp. 116~128  
○○大学出版局 全280頁 1999年6月

### (3) 監修・編集 **叢書・全集は一括して記載**

- 1) ○○○の近代史と日本 (全4巻)  
連合太郎・稲毛弥生・常盤みはる (編集)  
第1巻 ○○○と日本  
○○書房 全330頁 1999年3月

- 2) 全集 ○○○教育の歴史 (全3巻)  
連合太郎・稲毛弥生 (監修)  
○○出版部 全720頁 1999年1月

## 3. 芸術関係業績

**記載要領は、各専門分野における慣例的表記法による。**

## 4. その他 (研究報告書, 調査報告書, 翻訳等) **記載要領は、「2. 著書」に準じる。**

- 1) 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 院生連携プロジェクト報告書  
○○○○○○○○○○の調査と分析  
連合太郎 他計4名 (院生代表者 連合太郎、教員代表者 常盤みはる)  
Ⅱ ○○○○○○○○に関する文献検討 pp. 7~25  
Ⅳ ○○○○○○○○の現状 pp. 32~45  
東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科  
全70頁 2010年3月